



社会福祉法人 恩賜財団

10月号

愛知県同胞援護会だより

第279号

平成23年10月15日発行



「祝い鯛」

東山デイサービスセンター 安藤 美津子さん 利用者作品

目次

春日井・豊田グループ……………P.2~3	若草苑……………P.8
春緑苑……………P.3~4	第2とよた苑……………P.9
さくら保育園……………P.4	サンホーム豊田……………P.10
第2春緑苑……………P.5	支えていただいた方々……………P.11
春日苑・ワーカー鷹来……………P.6	春日井・豊田グループ……………P.12
とよた苑……………P.7	

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306
HPアドレス:www.douen.or.jp
E-mailアドレス:douen@douen.or.jp

叙勲受章記念祝賀会

当法人の専務理事兼特別養護老人ホーム春緑苑施設長である田中亨が瑞宝双光章を受章したことを祝し、9月10日(土)、ホテルプラザ勝川にて「田中亨氏 叙勲受章記念祝賀会」を開催いたしました。多くの来賓の皆様を始め、法人関係者、ボランティア関係者の皆様に参加していただき、盛大に執り行われました。



▶倉知会長
発起人代表として挨拶

来賓祝辞

衆議院議員 丹羽 秀樹 様
春日井市長 伊藤 太 様

お祝いの言葉

愛知県老人福祉施設協議会 会長 太田 二郎 様
名古屋市老人福祉施設協議会 会長 尾関 英浩 様
愛知県社会福祉協議会高齢者部会 会長 山本ゆかり 様



▲祝賀会会場

▶春日井市長 伊藤 太様 祝辞



▲衆議院議員
丹羽秀樹様
祝辞

田中 亨氏 叙勲受章記念祝賀会



▶田中専務理事も祝い太鼓に参加



◀専務理事のひ孫さんより花束贈呈

職員研修

9月27日(火)から30日(金)までの4日間、中途採用職員研修を行いました。法人の沿革や施設概要、就業規則、介護の基本についてなどを学び、参加者の熱心にメモを取る姿が目立ち、有意義な研修となりました。



▲おむつ介助について学びました



▲田中専務理事の挨拶

被災地支援活動に参加して

9月26日(月)から30日(金)までの5日間、愛知県老人福祉施設協議会主催の災害ボランティア派遣活動に参加しました。

(参加者)

特別養護老人ホーム春緑苑 生活相談員

西原修平

地域包括支援センターとよた苑 社会福祉士

加藤欣司



▲がれきの残る地域(気仙沼市内)

去る3月11日(金)の東日本大震災において、甚大な被害を受けた宮城県南三陸町にて、復興支援活動を行ってきました。主な活動内容としては、がれきの撤去作業や漁港の復旧作業などです。

漁港の復旧作業では、魚で使用する土の作りや、津波により様々な大きさが入り混じったウキの選別作業を行いました。作業が終わってから漁師さんとお話しする機会があったのですが、私たちが愛知からやって来



▲津波によって流れた集落



▲陸に乗り上げた漁船

たと知り、「東海地震が来た時はこちらから駆けつけますよ。まあ、それまでにこっちが復興しているか分からないけど」と笑いながら話してくださいました。また、復興するには相当な時間がかかることが予想されますが、そんな中でも、たとえ冗談であっても、そういった声をかけてくださることに嬉しさを感じたと共に、震災から半年が経ち、復興に向けて前を向いて活動している漁師さんの姿を見て、とても感銘を受けました。また、度々起こる余震については、「もう慣れた」とおっしゃっていましたが、「津波の情報

今回のように、恵まれた環境で直接現地にて活動してきた者として、被災地の現状や被災した方々の体験を伝えていくことで、今回の震災経験を風化させないことに繋げることが使命だと感じています。今回の貴重な体験を通して、私たちも今後予想される東海大地震に備えて、今の段階で何ができるのか、何をしておくべきなのかを改めて考えさせられる機会となりました。5日間を終えて、この支援活動に私たちが参加することがで



▲骨組みだけが残された建物

になると敏感に反応してしまい、数十センチの波でも怖いと思うようになった」と語られていました。今回の震災は、見ただけでもその被害の甚大さが分かりますが、見た目だけでは分からない、人の心に対して大きな爪あとを残した震災となったのだと実感しました。被災した方々への心のケアも含めて、今後も息の長い支援が必要になると痛感しました。

春緑苑

敬老会でお祝いしました

9月の敬老の日を迎えるにあたり、少し早めに敬老会を行いました。

9月13日(火)、高蔵寺幼稚園の敬老慰問があり、小さいながら元気いっぱいな園児のみなさんの歌声と、プレゼントに素敵なメダルをいただきました。



▲がれきをかき分けて作られた道路

きたのは、施設の後押しがあったためであり、勤務している者の支援活動への参加やボランティア活動の普及拡大の為にはこういった周囲の理解、協力が不可欠であると感じたのと同時に、自分がそういった施設に勤めていることに誇りを感じる事ができました。そして、社会福祉に携わる者の一人として、今後もこういった理解ある施設が増えていくことで、社会の福祉(幸福)に繋がると信じています。



▲いくつになっても寿司はうまい

9月16日(金)には、私たちはな寿司さんによる寿司慰問と小牧歌謡会さんによる歌の慰問で癒されました。これからも元気に長生きしてくださいね。

475名の物故者の冥福をお祈りいたしました

9月23日(金)、月例祭と併せて秋の彼岸法要を行いました。83名のご遺族、ご来賓の方のご出席をいただき、475名の物故者の方々のご冥福をお祈りいたしました。

終了後は、職員とご遺族、ご来賓の方と故人の懐かしい思い出話に花を咲かせながらの会食となりました。



▶たくさんの方に参加していただきました

地域包括支援センター

介護予防教室の予定

「自分の体力は何歳？」

～体力測定をして、自分の若さを再確認してみよう～

- 【日時】 11月21日(月) 14時～15時30分
- 【講師】 地域包括支援センター春緑苑
看護師 太田美幸
- 【会場】 東部市民センター 第一集会室
- 【定員】 25名(定員になり次第申込み締め切りになります)
- 【参加費】 無料
- 【持ち物】 飲み物
- 【申し込み先】
電話 (0568) 88-5734
FAX (0568) 88-5704
メール chiikihokatsu@douen.or.jp
担当 澤井、水野、寺井、太田



デイサービス 敬老会を行いました



▲みどり会様によるすてきな日舞を堪能

9月16日(金)から9月19日(月)までの4日間、日替わりで敬老会を行いました。みどり会様の大正琴と日舞、わくとんとゆかいな仲間様のフラダンス、山地様のオカリナ演奏、ピチクリピ様のウクレレ演奏と日替わりでボランティアさんにお越しいただき利用者さんに楽しんでいただきました。大盛り上がりの敬老会となりました。

グループホーム

月見団子作り

9月12日(月)に毎年恒例の月見団子作りを行いました。上新粉・白玉粉に水気を加えてこね、団子状にし、最後に熱湯で沸かします。

利用者さんは、それぞれ経験があるため、「もっと丸くこねなきゃ!」、「まだ鍋から取出すのは早いよ!」など、にぎやかに楽しい作業になりました。でき上がった団子を見ては、小ささまさまで不揃いでしたが、利用者さんは「みんなの個性が出て面白いわ」と、笑顔で玄關に飾っておりました。

▶一生懸命丸めています



味美デイサービス

敬老会

9月14日(水)から17日(土)までの4日間、敬老会を行いました。デイサービスの皆様に楽しいひとときを過ごしていただくこと、丁半ゲームやカラオケ、手作りのおやつでおもてなしをしました。おもてなしの後、これからも元気で利用していただけるよう感謝の気持ちを込めて、肩たたきをさせていただきました。



▲丁半ゲームで大盛り上がり

10月の行事予定

- 10月21日(金) 月例祭
- 10月28日(金) 誕生会
- 10月29日(土) 福祉のつどい

さくら保育園

いないいないばー



▶「いるかな?」

ハイハイやよちよち歩きだった0歳児のりす組の子の歩行が少しずつ安定し、自由に歩きまわり活発に遊んでいます。

子どもたちの大好きな遊びは「いないいないばー」です。牛乳パックで作ったトンネルにタオルをかけ、隙間から「ばー」ってお友だちや保育士の顔を見て「キャッキャツ」と大笑いし、何度も何度も繰り返し行っています。

子どもたちの動作を見てい



◀「ばー」

ると、「あっ!いたあ!」と喜んで「こんにちは」と頭を下げたりする子など、面白い表情を見せ、部屋中笑い声であふれています。



▶何があるかな? ショクパンマンだ!

第2春緑苑

ピアガーデン開催!!



暑さもまだまだ厳しい8月30日(火)、「第2春緑苑」初めての企画となるピアガーデンが開催されました。酒格的な雰囲気の中で、ほどよく酔いもまわってきたところで花火の演出です。かぶりつきで眺める花火は迫力満点で、利用者さんからは大好評でした。

「花火上がり、会場雰囲気も大盛り上がり!!」屋さんからサーバーを借り、本格的な雰囲気の中で、ほどよく酔いもまわってきたところで花火の演出です。かぶりつきで眺める花火は迫力満点で、利用者さんからは大好評でした。その後カラオケで、もうひと盛り上がりし、楽しい余韻を残しながら、みなさんご満悦でした。「楽しかったよ!是非またやって欲しい」との声も聞こえてきました。

カラオケで熱唱中です!



H23年度敬老会



▲華やかな衣装と演奏がとても合っています

9月19日(月)、敬老の日に敬老会を開催しました。今年はアロハ・ミマースさんと、レフアフラダンス同好会さんによるコラボレーション企画として、会場を大いに盛り上げていただきました。利用者みなさんも一緒に歌や踊りに参加され、大いに盛り上がりました。敬老会終了後はお祝いの紅白まんじゅうをみなさんと食べ、敬老の日をお祝いしました。



▲大勢のボランティアさんを前に思わず笑みがこぼれます



▲利用者のみなさんと一緒に参加しました

職員リレー随想

きっかけ

特養介護士 松原芳樹

私がこの介護職に就こうと思ったきっかけは、8年前に祖父が倒れ両親が介護をしている姿を見て、「大変だな」と思ったのと同時に「自分にもできるのかな」と思ったことがきっかけです。

特に父が、普段あまり話さない祖父をお風呂に入れてる際に、不器用ながらも一生懸命介護をしている姿を見て、親子の温かさを感じました。今、介護職員になり、一人ひとりの関わりを大切に、優しく、思いやりを持って皆様と接して行きたいと思っております。

デイサービス

夏祭りの

8月22日(月)、23日(火)の2日間、夏祭りを開催しました。色とりどりの提灯や飾り付けをし雰囲気は最高に。踊りは豊愛会様に来苑していただき、アンコールを含め12曲利用者さんを交え元気いっぱい、笑顔いっぱい踊ってくださいました。軽食としてあんみつと、ハランの葉で作った笹舟を皿にしたたこ焼きを出し、おいしそうに食べられていました。今年もまた一つの思い出ができました。

※ハラン=植物



▲大野豊愛先生と豊愛会のみなさんです



▲とてもすてきな笑顔です



▲みんなで輪に入って楽しく踊りました

- 10月17日(月) 書道教室・リズム体操
- 10月18日(火) リズム体操
- 10月24日(月) 月例祭
- 10月25日(火) アコーデオン・リズム体操
- 10月26日(水) 紙工作
- 10月27日(木) カフェ
- 10月31日(月) 誕生会
- リズム体操

10月の行事予定

10月のメニュー紹介

選択食の日

日時: 10/20(木) 昼食

A食	B食
パンプキンプリン	アップルパイ

11月の福祉講座のご案内

「味覚障害を予防しよう!!」
～簡単エックで栄養改善～

【日時】 11月22日(火) 14時～15時30分
【講師】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 管理栄養士 松尾 朱美子

【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター
【定員】 25名(定員になり次第、申し込み締め切りになります。)
【参加費】 無料
【申し込み先】 電話(0568) 56-9166 担当 永井、古川、小畑、大西、鈴木

地域包括支援センター

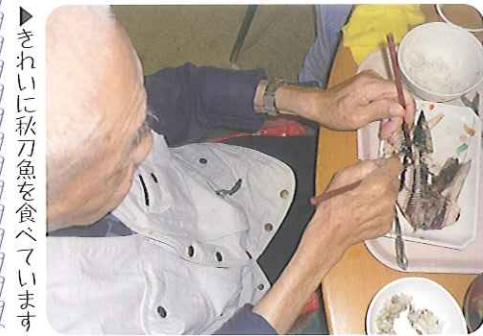
障害者支援施設 春日苑

昼食に秋刀魚が登場。利用者さんの大好きなメニューの一つです。
秋刀魚を食べると秋を感じるって言う利用者さんが多いようです。

秋の味覚“秋刀魚”を食べました



利用者さんの声
「骨がいつぱいあって食べにくいけど、香ばしいおこし。」
(Hさん)
(Kさん)
「全部大好き」



きれいに秋刀魚を食べています

将棋の先生 若井清さん

若井清氏(当社の取引業者のひとり)、定期的に春日苑を訪れ、将棋好き利用者さんふたりに将棋を教えてくださいました。今回は9月27日(火)に来訪され、手ほどきをうけました。若井さんは、と金クラブ将棋教室(名古屋市中白区平和が丘)の講師でもあります。

の今井綾さんと弟さんを春日苑に連れてきていただき、数手指しました。綾さんの詰め将棋練習は、11から19手詰めとのこと。春日苑利用者さんは、とても歯が立ちませんでした。小学校1年生の弟さんの勝ちも勝てませんでした。



利用者さんは真剣な表情で将棋を指しています

障がい者生活 支援センターだより

小牧養護学校情報交換会

9月16日(金)、小牧養護学校にて行われた情報交換会に参加しました。保護者や他の市町の支援センター職員も参加され、卒業後の進路や、普段の困りごとなどについて話し合いました。保護者からは卒業後に通うことのできる施設が少ないことや、医療的ケアの必要な方の利用できる福祉サービスの少なさについて意見が出されました。

出された意見の中には、地域自立支援協議会で取り組んでいるものもありましたが、保護者から「知らなかった」との意見もあり、周知不足を実感しました。保護者から直接ニーズや意見を聞くことができ、また、支援センターを知ってもらう機会にもなり、とても有意義な情報交換会になりました。

【お問い合わせ】
春日苑障がい者生活支援センター
TEL(0568) 8817637
FAX(0568) 8815802
Eメール: kasugastien@douen.or.jp
担当 住岡・尾崎まで

●10・11月の行事予定
10月29日(出) 福祉のつどい
11月9日(休) レクの日
11月16日(休) バスハイク
(リ)ア鉄道館)

新任職員紹介
(9月15日付)

管理栄養士 柏 亜希

ワーカー鷹来

資材の搬入も しつかりやるよ

仕事をいただいている企業から、定期的に資材が搬入されます。トラックの音がすると、



▲材料いっぱい!



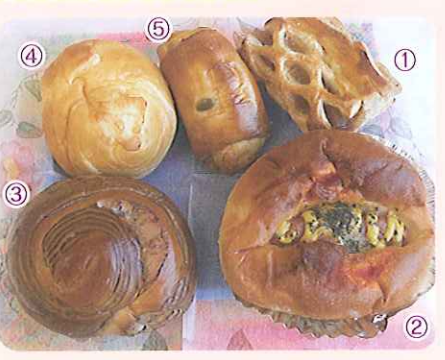
▲今日は多いね!!

みなさんソワソワし始めます。どこの企業のトラックが来たか内線で確認すると、台車を押しながら搬入口に向かいます。みんなで手分けして作業室まで運びます。軽いものは手で運び、重いものは台車を使って運んでいます。

新作発表!

新たに5種類のパンが登場しました。ぜひ一度お試しください。

- ①ミニアップルパイ (シナモン風味)
- ②ウィンナーポト
- ③チョコマール
- ④カマンベールコロ
- ⑤フチパンアキン



とよた苑

野球観戦



横浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	X	1	

9月11日(日)、ナゴヤドームに中日対横浜の観戦に行きました。まずは、試合前に腹ごしらえのお弁当とビールを一本。いざ試合観戦。前日から楽しみにされており、いざ、試合が始まるとだまってじっくりと観戦されていました。ひいきにしている中日が勝利するとにっこりされ、「よかった」と一言。存分に楽しんだようです。

特養



▲楽しい敬老会となりました

敬老会

祝!!おめでとう!!
 デイサービス

9月13日(火)から9月19日(月)までの1週間敬老会を行い、たくさんの方が歌や太鼓などの慰問に来てくださいました。



▲元気いっぱい踊っています

柏会のみなさんは踊りを踊ってくださり、思わずうっとりするほどの美しい舞を披露してくださいました。利用者さんも一緒に前に出て、元気一杯に踊り楽しいひとときを過ごしていました。慰問が終わると、その日の最高年齢者の利用者さんに出でて挨拶をしていただき、くす玉を勢いよく割っていただきました。くす玉が割れ、中からお祝いのメッセージが出てくる、「おおっ!!すごい!!」とうれしそうに両手を挙げ、たいへん喜んでいました。利用者さんにとって、忘れられない思い出がまた一つ作れたのではないのでしょうか。



▲とてもうれしそうです

9月19日(月)、とよた苑食堂にて敬老会が行われました。午前はあさがおの会による管楽器の演奏、サンホーム音楽隊による発表会。午後からは祝賀の方のご家族をお招きし、お祝いをしました。笑顔の絶えない一日となりました。

ケアハウス豊田

敬老会

9月19日(月)の敬老会に櫻会のみなさんが慰問に訪れました。手作りの太鼓による踊りや、山本リンタの曲に合わせたダンス、美空ひばりの『川の流れるように』のカラオケなど、元気なステージを鑑賞し、とても楽しい時間を過ごすことができました。たくさんのご家族の方にも参加していただきお祝いすることができました。



▲90歳以上の方と節目の方たちです



▲数え年100歳とても元気ですみんなの目標です

家族の方と記念撮影おおばあちゃん元気です



ケアハウスの根性スイカ
 とても暑い日が続いた今年の夏、ケアハウスのプランターにスイカの種を植え、たくましく実を着けました。入居者の方に毎日見守られ、「大きく育ったらみんなでスイカ割りを」と楽しみにしていました。残念ながら台風12号によって割れてしまいました。来年こそは大きな実をつけてくれるように願っています。



▲来年こそは大きくなるぞ



▲抹茶はおいしいですね

抹茶でお祝い
 午後からは、抹茶と和菓子を提供しました。抹茶を点てる様子を見て、「懐かしいわね」という声も聞かれました。お茶をいただきながら、午前中に行われた敬老会の話題に花を咲かせていました。

養護若草苑

一緒に楽しみました!



▲あと、もう少し!

9月15日(木)、トヨタ自動車株式会社S×会の方25名と「一緒に楽しく遊びましょう会」として、苑内でカラオケ、習字、工作、運針、囲碁・将棋、園芸の6つのブースに分かれ交流会を行いました。



▲上手に書けるかな?

11月3日(木)、10時30分より養護老人ホーム若草苑と若草苑デイサービスセンター合同による文化祭を開催いたします。今年「飛躍」をテーマに展示物や作品を制作しております。皆様お誘い合わせの上ぜひお越しください。

第7回若草苑文化祭のお知らせ



▲きれいに植えました!!

利用者さんと一緒に作品を作ったり、遊んだりして充実した時間を過ごすことができました。



▲こうやるんですよ!!

若草苑デイサービス

敬老会

9月15日(木)〜19日(月)までの5日間、ボランティアの方に来ていただき敬老会を行いました。



▲目指せ100歳!!



▲あ〜あ〜港町13番地〜♪

みなさん、いつまでも元気でいてくださいね!



▲まだまだ頑張ります!!

東山デイサービス

東山素人劇団で大盛況

9月13日(火)から始まった敬老週間。今年は一感動する敬老会」を合言葉に利用者さんに楽しんでいただけよう色々な催し物を用意しました。手をたたきながら涙を流して喜ばれたのは、東山素人(職員)劇団に



▲息もぴったり!!

よる演芸会でした。

内容はダンス、歌、手品、民謡、踊り、ウクレレ漫談、一人羽織、歯笛、銭太鼓など盛り沢山。いつも接している顔馴染みの職員が、この時だけは別人となって演じるので利用者さんに大うけ。「こんなに笑ったのは久しぶり」「長生きして良かった」と涙を流して握手する一幕も。職員一丸となって行った敬老会は大盛況で終わることができました。



▲♪おてもや〜ん...



▲一致団結。見事に決まる!!

第2とよた苑

ナゴヤドームに感動



9月6日(火)に利用者さん2名とナゴヤドームに行ってきました。

対戦カードは中日VS巨人!! 利用者さんは2人とも中日ファン。中日ファンは、昔から巨人戦には燃えるものです。

「巨人戦が観たい」というのも利用者さんからの希望でした。

試合の方は、残念ながら中日の負け。

ひいきのチームは負けてしまいました。プロ野球を観戦し、ナゴヤドームの雰囲気を楽しむことができて大喜びでした。

可愛い赤ちゃんたち



9月22日(木)、「meas's smile」の0歳から2歳までの子どもたち11名と母親9名が遊びに来てくださいました。

一緒に手遊びをし、絵本を読んで楽しんだ後は、握手をしたりだっこをしたりとふれ合いを楽しみました。昔を思い出され、慣れた手つきで子どもをあやす姿や優しい表情に、こちらも癒されました。お別れの時は涙を流す利用者さんもあり、心温まるひとときとなりました。



▲ほのほのとしたひとときでした

特養



▲園児たちとのふれあい

9月15日(木)に敬老会を行いました。最初に伊保原こども

デイサービス

いつまでもお元気で

9月13日(火)から19日(月)までの1週間、敬老会を行いました。毎回様々なボランティアのみなさんに来ていただき、大正琴や日本舞踊、フラダンス、三味線などで会を盛り上げていただきました。

セレモニーにおいては利用者最高齢の102歳の女性を始め、卒業、米寿、

▶登壇フラのフラダンス

敬老会



▲これからもお元気で!!

傘寿、喜寿の節目の方に対してのお祝いもしました。一人ずつハイビスカスの首飾りを首にかけ、カメラの前で写真を撮りました。みなさんとてもうれしそうであふれんばかりの笑顔でいっぱいでした。とても楽しいひとときを過ごすことができました。

園の年長さんの歌や手遊びを行い、利用者さんたちもかわいい子どもたちとふれあい笑顔があふれていました。

その後、第2とよた苑最高齢104歳の利用者さんを筆頭に節目の年齢の方のお祝いをし、最後は山内純平商店様よりいただいた抹茶と和菓子を楽しみました。

利用者さんの挨拶でいただいた「ありがとう」の一言が私達職員の励みになります。これからもいつまでもお元気で...

居宅介護支援事業所

喜びある生活

大腸癌末期の方で、在宅を希望し、半年前に訪問入浴とベツドレントルを開始した男性Mさんをご紹介します。当初Mさんは、チョコレートしか口にすることができず体重は41kgまで減少。床ずれの心配もありましたが、「体力がいたらら目の手術をし、好きな時代劇を見たい」という希望がありました。

往診と訪問看護、本人と奥様の頑張りや徐々に体重も増え、9月初めには51kgになり、念願の目の手術を受け、今は見えることに喜びを感じ生活を楽しんでいます。



▲節目の方全員で記念撮影

知的障害者援護施設
サンホーム豊田

玉入れゲームで
大盛り上がり☆

9月12日(月)の中秋の名月の日に、月見会を行いました。月見団子に見立てた玉をカゴに投げ入れるゲームを行い、多くの利用者さんがスタートの合



▲うさぎのお面、かわいいでしょ



▲私の投げた玉、入れー!

とよた苑のみなさん、いつもありがとうございます!!

9月19日(月)、音楽クラブの利用者さんととよた苑の敬老会で発表を行いました。

初めは大勢の観客の前に緊張の様子でしたが、ステージに上がると、笑顔で歌と手遊びを発



▲大きな栗の木の下で〜♪

表していました。とよた苑の方々も、知っている曲にあわせて手拍子をしてくださり、会場全体で楽しむことができました。「楽しかった」「また発表したい」という感想も多く聞くことができ、利用者さんにも良い体験となりました。



▲どのチームが優勝かな?

図と共に、一生懸命玉を投げ入れました。勝敗が決まると、喜びを表現している人や悔しがっている人で会場全体が大盛り上がりとなりました。おやつには月見団子を食べ、楽しい月見会となりました。



▶みんなでダンス

9月1日(木)、「アイシン課長会」のみなさんに来ていただき、交流会を行いました。1時間という短い時間でしたが、腹話術、パネルシアター、歌と盛りだくさんの楽しい時間を過ごすことができました。中には、腹話術の人形を見て「ちよっと怖い」と言っている利用者さんもうらっしゃいました。が、多くの方から「楽しかった」「おもしろかった」という感想を聞くことができ、とても良い交流になりました。

楽しい交流会



▲ぶどう上手にとれるかな?

青空の下で
ブドウ狩り&ハーベキユー

9月15日(木)、青空班の16名で作業班外出として、岡崎市のマルタ園へブドウ狩りとハーベキユーをしに出かけました。ブドウ狩りでは、多くの利用者さんが説明を真剣に聞き、自分でブドウを採って食べていらつしゃいました。また、ハーベキユーでは、様々な肉や有機野菜を用意していただき、みなさん「おいしい!」と言いなながら、夢中で食べていらつしゃいました。残暑厳しい中でしたが、好天に恵まれ、気持ちの良い外出となりました。



▲たくさん食べるぞー☆

●10月・11月の行事予定

- 10月23日(日) 益富でんでこ太鼓交流会
- 10月29日(出) 美里中合唱コンクール(音楽クラブ)
- 11月12日(出) ナイスハートふれあいスポーツ

生活介護事業

お月見のデザート
おいしいね



▲お!上手!

9月15日(木)、月見会でうさぎ大福とたこやき風お月見団子を作りました。うさぎ大福作りでは、みなさん上手に手のひらを使って丸めることができました。甘納豆で目や耳を付けると、笑顔で「かわいい!」と出来栄に満足している利用者さんもうらつしゃいました。また、たこやき器を使って作るお月見団子作りでは、みなさん楽しそうにひっくり返すなど、上達の早い利用者さんもうらつしゃいました。「お!上手!」などの声もとび、和やかな雰囲気です。



▲かわいいデザートのでき上がり♪

支えていただいた方々

9月1日・9月30日(敬称略、順不同)

春日井グループ

春緑苑

特養

寄付物品

清水佐紀子・金崎民子幸の会・林守(太極拳)・赤木宏治・高橋紀子(ハッチワケ)・水野風凰詩吟・古川良彦(織物)・白根俊男(絵画)習字・つくしの会(みり会)山路様とフランススワクトンとゆかいな仲間ビチクリビ

ボランテア

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

とよたグループ

近藤とみ伊藤隆子・長谷川朝子・長江つづ・築地かむ子・安田英子・中村みさ子・吉田元子・河村なみ枝・横井雪子・田島重子・乾いさ江・山本眠枝・長谷川百合子

とよた苑

特養

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

とよた苑

石川文見・林千子・林順子・大谷末子

とよた苑

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

若草苑

杉崎鈴子・小野清子・小野田雪江・高山立子・浦田璋八・林たか・長縄礼子・中村泰子・高橋ヒロ・柴田佳代子・成田ハチコ・生田君子・中村郁子・水嶋静夫・末下ヤエ子・松田とし子・井本鏡子・杉田保子・松島朋子・近田一夫・松本千枝子・近藤菊枝・藤田千代子・坂野史弥・福井吉三・三浦三郎

若草苑

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

サンホーム豊田

藤田ゆかり・古野君子・魚信・安田浩克

サンホーム豊田

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

寄付物品

海外研修レポート

平成23年度海外研修
障害福祉 スウェーデン・フランス 前編
スウェーデン編

障害者支援施設春日苑 主任 長尾 朋 (生活支援員)

9月10日(土)から9月17日(土)までの8日間、スウェーデン・フランスの障害者福祉関係施設を視察しました。その概要を報告します。

9月10日(土)

成田空港からコペンハーゲン経由で、スウェーデンのストックホルムに向け出発。この日は完全に移動日。現地と日本の時差は7時間、現地到着は19:30頃。滞在先のホテルで夕食を済ませその日は終了しました。

9月11日(日)

ストックホルム市内を視察。ノベル賞の授賞式が行われる市庁舎や当時世界で最大級の戦艦であったが出港してわずか25分で沈んだと言われるヴァーサー号博物館、旧市街のガラムスタム、ベルサイユ宮殿等を回り、現地の実情を踏まえながらの視察となりました。現地の通訳兼ガイド



旧市街地の広場

9月12日(月)

スウェーデン国内で最大のリハビリセンターのRehab Centerと、知的障がい者のデイサービスセンター(Tongsgården Autisimcenter)を訪問。Rehab Centerはその名の通り、交通事故等により入院し、障がいを抱えた利用者が退院後にこの施設で、社会復帰に向けて支援していく施設で、各分野の専門家が揃っており、ストックホルムで一番の規模と設備を備えているとのことでした。この施設で社会復帰をした利用者もあり、そこで働く方々から自分たちの体験談を通し



市庁舎の国会を見学

て、施設紹介をしていただきました。ここに来た利用者には、自分自身を見て社会復帰に向けて頑張っているのこのことでした。また、障がいを抱えた後、金メダルをとった職員もあり、それが大きな自信に繋がり、利用者に希望を見せることができたのではないかと思えるようになった等、実体験を通して、この施設の概要を説明していただきました。知的障がい者のデイサービスセンター



▲手動の自転車に挑戦中!!



リハビリセンターの入口

が、現在は30名の利用者と40名の職員で運営しています。施設は5ユニットに分かれており、子ども、青少年、成人の入所施設と、2つのデイサービスに分かれています。施設の運営だけではなく、施設運営のノウハウを他事業者に販売することも行われています。この施設では、民間委託になる際に入札が行われたが、コスト面では大手の企業に太刀打ちできなかったとのこと。だが、規模を小さくし、サービスの質をアピールすることで、民間委託を勝ち取ったと話がありました。サービスの質を示す手段として、当時、インベスターインピーブル賞を得ることができたとのことでした。スウェーデンでも介護士の賃金は高水準ではなく、一般企業に比べやや低い水準であるとのこと。それを企業として賄っているのは、一時間でも休みを多くしたり、夜勤手当等の各手当や、研修等に参加してもらったりすることで補充しているとのことでした。デイサービスに来た利用者の一日の流れとして、その日何を行うか知ることから始まります。まず、文字の認識ができる利用者は、スケジュールを確認します。それが困難な利用者は、写真を見て、誰と何を行うか確認します。作業所では、シルクスクリーン印刷(液体を伸ばして絵を描いた後、スクリーンに伸ばす板、エプロン等に印刷する)を行っていき、それぞれの工程を分けて行ったり、一人で行える利用者には、すべての工程を行ってもらっています。現在は、この施設内での販売のみだが、ネット販売も始めて

て、施設紹介をしていただきました。ここに来た利用者には、自分自身を見て社会復帰に向けて頑張っているのこのことでした。また、障がいを抱えた後、金メダルをとった職員もあり、それが大きな自信に繋がり、利用者に希望を見せることができたのではないかと思えるようになった等、実体験を通して、この施設の概要を説明していただきました。知的障がい者のデイサービスセンター

が、現在は30名の利用者と40名の職員で運営しています。施設は5ユニットに分かれており、子ども、青少年、成人の入所施設と、2つのデイサービスに分かれています。施設の運営だけではなく、施設運営のノウハウを他事業者に販売することも行われています。この施設では、民間委託になる際に入札が行われたが、コスト面では大手の企業に太刀打ちできなかったとのこと。だが、規模を小さくし、サービスの質をアピールすることで、民間委託を勝ち取ったと話がありました。サービスの質を示す手段として、当時、インベスターインピーブル賞を得ることができたとのことでした。スウェーデンでも介護士の賃金は高水準ではなく、一般企業に比べやや低い水準であるとのこと。それを企業として賄っているのは、一時間でも休みを多くしたり、夜勤手当等の各手当や、研修等に参加してもらったりすることで補充しているとのことでした。デイサービスに来た利用者の一日の流れとして、その日何を行うか知ることから始まります。まず、文字の認識ができる利用者は、スケジュールを確認します。それが困難な利用者は、写真を見て、誰と何を行うか確認します。作業所では、シルクスクリーン印刷(液体を伸ばして絵を描いた後、スクリーンに伸ばす板、エプロン等に印刷する)を行っていき、それぞれの工程を分けて行ったり、一人で行える利用者には、すべての工程を行ってもらっています。現在は、この施設内での販売のみだが、ネット販売も始めて



▲シルクスクリーン印刷

編集後記

10月に入りだんだんと秋らしくなってきました。秋といえば運動の秋です。節約・節電とよく言われますが、ウォーキングこそ究極のエコスポーツ!秋の季節が作り出す自然の芸術を感じながら散歩にお出かけしてみたいいかがですか? この広報紙に掲載した個人情報、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。